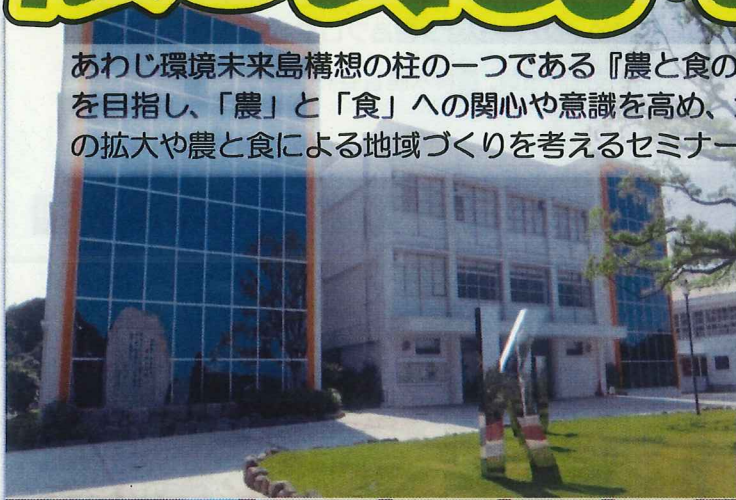


あわじ

農と食による地域づくり

あわじ環境未来島構想の柱の一つである『農と食の持続』ができる島の実現を目指し、「農」と「食」への関心や意識を高め、地元農畜産物の地産地消の拡大や農と食による地域づくりを考えるセミナーを開催します。

セミナー



日時：2016. **3.10** (木) 13:30~16:00

場所：吉備国際大学 南あわじ志知キャンパス B101講義室

プログラム

【講演】(13:40~14:10)

『農と食の持続に向けて~より安全でより安心な農産物の生産をめざして~』

吉備国際大学地域創成農学部学部長 谷坂 隆俊

【事例発表】(14:10~14:55)

『地域を生かした食と農』

(株)チューリップハウス農園 取締役 統括部長 高詰雅秀

『農業人材育成について~これまでの取り組み・今後の取り組み~』

(株)パソナ農援隊 取締役 チャレンジファーム事業部長 紙上忠之

『北坂養鶏場ができること』

北坂養鶏場 代表 北坂勝

【パネルディスカッション】(15:00~16:00)

『地元農産物の消費拡大のために、どのように取組むか』

コーディネーター 吉備国際大学地域創成農学部 学部長 谷坂 隆俊

パネリスト

(株)チューリップハウス農園 取締役 統括部長 高詰 雅秀

株式会社パソナ農援隊 取締役 紙上 忠之

北坂養鶏場 代表 北坂 勝

申込締切り

3/7(月)

◆主催：あわじ環境未来島構想推進協議会◇申込先：(一財)淡路島くとうみ協会 公園島推進室地域振興課

講演講師

谷坂隆俊 (たにさか たかとし) 吉備国際大学地域創成農学部 学部長

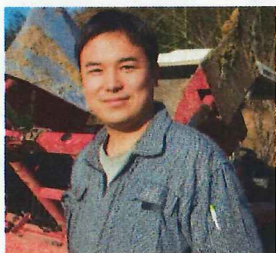


長野県生まれ。京都大学大学院農学研究科修士課程修了後、同大学院農学研究科教授などを経て、同大名誉教授。2013年吉備国際大学地域創成農学部教授に就任。内閣府戦略的イノベーション創造プログラム次世代農林水産業創造技術評議員、農林水産省委託プロジェクト研究運営委員も務める。

パネルディスカッションパネリスト

高詰雅秀 (たかづめ まさひで)

(株) チューリップハウス農園 取締役 統括部長



1984年兵庫県生まれ。2010年4月に洲本市五色町に(株)チューリップハウス農園を設立。「子ども興し、村興し、農業興し」を掲げ、20歳前半の若者3人から始まる。2011年7月洲本市から「認定農業者法人」として認定される。休耕地を開墾し、生産×加工×販売の6次産業を行う。2014年9月自社の野菜と淡路島の食材を使った農園レストラン「夢蔵」を農園内古民家にてオープン。現在、20~30代のメンバー10名(北海道含め)で活動。

紙上忠之 (かみうえ ただゆき)

株式会社パソナ農援隊 取締役



1969年兵庫県生まれ。1994年4月(株)パソナグループ入社。2003年秋田県大潟村での農業インターンプロジェクトに参加し、農業研修を始める。2008年(株)パソナグループのチャレンジファーム in 淡路が開設される。2012年2月パソナ農援隊事業開始に伴い取締役就任し、栽培管理・指導、人材育成、農業分野の情報発信に携わる。

北坂勝 (きたさか まさる)

北坂養鶏場 代表



1973年淡路島生まれ、淡路島育ち。養鶏家。養鶏を営む家に生まれ、21歳から家業の手伝いを始める。2006年、株式会社北坂たまご設立「たまごまるごとプリン」の製造販売を始める。同年、父の後を継ぎ、北坂養鶏場の代表を兼任する。2011年北坂養鶏場のブランディングを始め、島内外の人とのつながりの中、平飼い小屋を作り、直売所を始め、妻母娘2人や仲間たちと日本の鶏を養う。

会場図



お申し込み方法

下記の申込書に氏名、住所、連絡先(電話、メールアドレス)をご記入のうえ、FAXまたはメールにより、3月7日(火)までにお申し込み下さい。

※参加決定の連絡は致しません。

問い合わせ・お申し込み先

(一財)淡路島くうみ協会 公園島推進室 地域振興課
(淡路県民局 県民交流室 未来島推進課)
〒656-0021 洲本市塩屋2丁目4番5号
TEL: 0799-26-3480 FAX: 0799-23-1250
時間/9:00~17:30(土、日、祝祭日を除く)
E-Mail: awajikem@pref.hyogo.lg.jp

あわじ 農と食による地域づくりセミナー 参加申込書 FAX: 0799-23-1250

フリガナ	電話番号
氏名	メールアドレス
住所	職種

※ご記入いただきました個人情報につきましては、本セミナーの実施に関する目的以外には使用いたしません。